CDP2022 スコアリング イントロダクション





CDPの質問書











国際的な開示・取組みの枠組み

投資家と企業は何を評価するべきか

CDP質問書

国際的な枠組みの内容をアクセス 可能で実用的なデータに分類



CDPガイダンス

各質問でどのように完全で 比較可能な情報を提供でき るか。各データに関連するア クションを取るためのリソー ス。

CDPスコアリング

各データに対するベスト プラクティスはどのよう なものか



CDPデータ

比較可能で標準化された、 意思決定に役立つデータ



CDPのスコアリング



- 独立性: スコアリングは、CDPからトレーニングを受けた第三者機関(スコアリング・パートナー)によって実施されます。パートナーによって採点されたスコアは、厳しいチェック(クォリティ・アシュアランス)を受けた後、発表されます。
- ▼ 比較可能性: CDPのスコアリング手法は、どの国の企業にとっても同等に適用されます。したがって、どの企業も同様に重要なアクションを示し、同じ情報を求められます。
- ▼ 透明性: 回答ガイダンスやスコアリング手法はオンライン上で公開しています。またウェビナーやワークショップ等でも内容を説明しています。
- ▼ 広範性: 2021年、CDPを通して13000社以上が回答を行い、その大半の回答のスコアを算出しました。
- ▼ 影響力: 公表されたスコアは、CDPウェブサイトやレポートのほか、QUICKやBloombergの株価情報端末や Google Finance、ドイツ証券取引所などにも掲載されており、機関投資家にも共有されています。

CDPは質の高いスコアを、公平な立場で提供することが重要と考えています。 そのために、CDPは<u>利益相反ポリシー</u>を定め、公開しています。



CDPスコアの意味



環境スチュワードシップの向上

認識

・現状の把握

情報開示

D, D-

・環境問題が自社の 事業にとってどの ような影響をもた らすか

C, C-

マネジメント

・どのように環境問 題によるリスクや 影響を管理してい るか

B, B-

リーダーシップ

• 環境問題をどのよ うに解決しようと しているか

A, A-

CDPスコアの意味



情報開示レベル(D、D-)

- ▼回答の完全性を示す
- ▼データの信頼性と品質の向上を推進
- ▼質問書に回答する準備ができているが、スチュワードシップに向けた努力は成熟していない

認識レベル(C、C-)

- ▼事業で環境問題の影響を考慮していることを示す
- ■開示による透明性を高めるところから進んで、環境問題に関する認識を深めている段階



CDPスコアの意味



マネジメントレベル(B、B-)

- ▼環境リスクやその影響に対するアクションをとっていることを示す
- ■環境リスクやその影響をトラッキングし、緩和したりなくしたりしようとしている

リーダーシップレベル(A、A-)

- ▼環境問題の管理においてベストプラクティスを行っていることを示す
- ▼環境問題について自社の事業に沿った理解をしており、その認識や実行したアク ションについて説明できている

Aスコアの企業は、Aリスト企業=優秀企業として特別に認定されます。





▼各質問に、情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップの各レベルの配点が設定されています。

例:C1.1a 取締役会における気候関連課題の責任者の職位をお答えください。

個人の職位	説明してください
選択肢:	文章記入欄[最大2,400文字]
● 取締役会議長	
■ 取締役	
● 最高経営責任者(CEO)	
● 最高財務責任者(CFO)	
● 最高執行責任者(COO)	
● 最高調達責任者(CPO)	
● 最高リスク管理責任者(CRO)	
● 最高サステナビリティ責任者(CSO)	
● 最高投資責任者(CIO) [金融サービスのみ]	
● 最高財務責任者(CCO) [金融サービスのみ]	
● 最高契約査定責任者(CUO) [金融サービスのみ]	
● その他の経営幹部役員	
◆ 社長	
● 取締役会レベルの委員会	
• その他、具体的にお答えください	



桂耙胆二

三刃 三址



採点基準 C1.1a

	情報開不	認識	マネンメント	リーターンツノ
採点基準	 [個人の職位]欄 で選択ポート 説明はいり 説明していり 説明ポイント 	該当する、[個人の職位]、[説 の職位]、[説 の職位]の両方のあ か の答して か の答して か り の り り り り り り り り り り り り り り り り り	情報開示レベルが満点でなければマネジメントポイントは与えられない。 [説明してください]欄の説明内容が、[個人の職位]欄で選択された選択肢と矛盾しているかの責任が気候問題にどのように関連しているかの説明を記入⇒2ポイント	マネジメントレベルが満点でなければリーダーシップポイントは与えられない。 • [個人の職位]欄で取締役会議長、CEO等、特定の職位を選択⇒1ポイント (上記の1点が付与されたうえで) • [説明してください]欄で、この2年以内に個人/委員会が行った気候関連の意志決定の事例を1つ以上記入⇒1ポイント
配点合計	2ポイント	1ポイント	2ポイント	2ポイント

ララごりいし



◥情報開示・認識スコア

全質問の得点合計/全質問の配点合計×100 (%)

▼マネジメント・リーダーシップスコア

Σ {質問カテゴリーごとの得点合計/配点合計

× 質問カテゴリーのウェイト×100 (%) }



Climate change

A guide to the climate change scoring categories and the weightings that will be applied to these categories per sector. Forests

A guide to the forests scoring categories and the weightings that will be applied to these categories per sector Water security

A guide to the water security scoring categories and the weightings that will be applied to these categories per sector.

【最新のカテゴリー・ウェイトの資料】



DISCLOSURE INSIGHT ACTION

▼マネジメントスコアの算出例

ガバナンス カテゴリー	マネジメント 得点	マネジメント 配点	ウェイト
CC1.1	0	0	
CC1.1a	2	2	
CC1.1b	1	1	
CC1.1c	0	0	110/
CC1.2	1	3	11%
CC1.2a	1	2	
CC1.3	1	1	
CC1.3a	1	2	





得点合計

配点合計 = 11

ガバナンスカテゴリーの マネジメントスコア =7/11 x 100 = 63.6(%)

ウェイトを考慮した ガバナンスカテゴリーの マネジメントスコア =63.6(%) × 11(%) = 7(%)

質問書全体の マネジメントスコア =ウェイトを考慮した各カ テゴリ―のスコアの合計



■情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップのスコアを算出し、各レベルの閾値に従って最終スコアが決定されます。

レベル	気候変動	水セキュリティ	フォレスト	スコア
情報開示	1-44%	1-44%	1-44%	D-
	45-79%	45-79%	45-79%	D
認識	1-44%	1-44%	1-44%	C-
	45-79%	45-79%	45-79%	С
マネジメント	1-44%	1-44%	1-44%	B-
	45-79%	45-79%	45-79%	В
リーダーシップ	1-79%	1-79%	1-79%	A-
	80-100%	80-100%	80-100%	Α

【例】

情報開示=82% 認識=65% マネジメント=30% リーダーシップ=20%の場合、 最終スコアはC 注意)最終的な閾値は、スコアリングプロセスにおいて決定されるため、こちらに記載のものが最終決定ではありません。

セクター質問書のスコアリング



- ■気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されており、セクター別のスコアリング基準、カテゴリーウェイトが設定されています。
- ▼どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター(CDPのセクター分類に基づく)に属しているかによって決まります。

気候変動		水セキュリティ	フォレスト
農産品食料・飲料・タバコ	鉄鋼輸送機器製造(OEM)	・ 食料・飲料・タバコ・ 電力	石炭金属・鉱業
製紙・林業 石炭 電力	輸送機器製造(エンジン部品)輸送サービス不動産	● 石油・ガス● 化学● 金属・鉱業	• 製紙•林業
・ 電力・ 石油・ガス・ セメント	* 小勁座	· 亚属· 弧来	※石炭、金属・鉱業はセ クター別のスコアリング
化学金属・鉱業	• 金融サービス		基準なし

CDPのセクター分類 (CDP ACS)



▼CDP ACS(Activity Classification System)とは ※詳細はこちら

- 財務情報(主に売上)を元に、事業活動に基づいた分類をしています。
- 複数の事業を行っている場合、複数のCDP Activityが設定されることがあります。
- 複数のCDP Activityが設定されている場合、最も財務的に大きな割合を占めるものをPrimary Activityと呼びます。
- Primary Activityに基づいて設定されたCDPセクター別質問のみがスコアリング対象となります。
- ACS分類を変更したい場合は、根拠となる財務情報を提示いただき、CDPまでご相談ください。





Aリスト要件



スコアが高得点で、気候変動や水問題、森林減少によるリスクを緩和するためのベストプラクティスとして認められる企業をAリスト企業に認定しています。

【Aリスト認定プロセス・要件】

- 1. スコアがAレベルの閾値をクリアしている
- 2. 各質問書テーマごとの条件を満たしている(次ページ参照)
- **3.** 回答を公表している
- 4. CDP スコアリングチームによる回答の再確認
- 5. 評判リスクに関するチェック
- 6. CDPスコアリング運営委員会の最終承認



Aリスト要件 ※詳細な要件は、各質問書別の<u>詳細版ウェビナー</u>を参照してください。



気候変動

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(C6.4, C6.4a)
- スコープ1および2総排出量のそれぞれ、またスコープ3の少なくとも一つのカテゴリーの 排出量について70%以上の第三者検証を受けている (C10.1a、C10.1b、C10.1c)
- スコープ1および2総排出量を回答している(C6.1、C6.3)

水セキュリティ

• 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(W0.6、W0.6a)

フォレスト

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(F0.5, F0.5a)
- すべての直接操業とサプライチェーンの包括的、かつ、徹底的なリスク評価が行われたことを実証している(F2.1a)
- 森林減少と森林劣化に関連したコミットメントに向けた行動を実証している(F4.5、F4.5a、F4.6、F6.1、F6.2、F6.2a、F6.3、F6.4、F6.8、F6.11)



サプライヤーエンゲージメント評価(SER)



- ▼気候変動質問書のみ対象
- ▼2019年から、投資家質問書のみに回答する企業にも実施されています。 (顧客企業からの要請で回答するサプライチェーン質問書対象企業は、これまで通 り引き続き評価が実施されます。)
- ■Aを獲得した企業のみ公表されます。A以外のスコアの企業は公表されませんが、 フィードバックは行われます。

サプライヤーとの協働状況について評価し、ベストプラクティスを特定することで、全世界のサプライチェーンにおける排出削減に向けた 取組みを加速するために購買企業のエンゲージメントを強化



サプライヤーエンゲージメント評価 (SER)



2022SERイントロダクション・基準(<u>リンク</u>)

サプライヤーエンゲージメント評価2022 イントロダクション

2022年のサプライヤーエンゲージメント評価の日本語説明資料となります。(動画は、2021年版です。2022年日本語版動画は現在作成中です。)





2021サプライヤーエンゲージメント評価 基進

サプライヤーエンゲージメント評価基準の日本語説明資料 (2022年の日本語版は現在作成中です。)

2021SERリーダーボード(<u>リンク</u>)

Supplier Engagement Rating Leaderboard

Search...

CDP's annual Supplier Engagement Rating (SER) evaluates corporate supply chain engagement on climate issues.

The highest-rated companies are celebrated in the Supplier Engagement Rating Leaderboard below. By engaging their suppliers on climate change they are playing a crucial role in the transition towards the net-zero sustainable economy—for more information, see the <u>SER introduction</u>.

Search by company name, keyword or click on a column to sort

Company	Country	Primary Sector	Primary Activity Group
A2A	Italy	Electric utilities	Energy utility networks
ABB	Switzerland	General	Electrical & electronic equipment
AbbVie Inc	United States of America	General	Biotech & pharma
ACC	India	Cement	Cement & concrete



CDPのスコアリング 注意点



■スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。 ⇒外部URLの参照、資料の添付(一部質問を除く)、他の回答欄を参照しなければならない回答等は評価には反映されません。

NG回答例

- ・「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト(http://www ~~~)をご覧ください。」
- 「詳細は質問○○への回答内容を参照のこと」
- ▼無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - <u>Please explain</u>や<u>Description</u>は必ず記入してください。 (Comment欄は任意記述です)
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。

CDPのスコアリング 注意点



■気候変動/水セキュリティ/フォレストの質問書の各テーマに即した記述をしてください。また、環境/ESG/サステナビリティなど包括的な記述は避けてください。

NG回答例①

(気候関連リスクと機会が研究開発費に 影響を及ぼしたことについての説明)

「環境関連の研究開発費は●●円です。」 ⇔環境全般ではなく、気候変動に特化し た研究開発費について回答してください。

NG回答例②

(気候関連リスクの詳細に関する説明)

「地震による津波によって、沿岸部の工場が浸水する被害が想定される。」 ⇔地震も重要な自然災害の一つですが、 気候変動とは関係がありません。

▼個人名など、個人情報を回答に含めないようにしてください。



CDPのスコアリング 注意点 (表形式の質問に対するスコアリング)



- ▼Best row(s) scored/One row scored (最良の行が採点されます/1行が採点されます)
 - ⇒最も高得点となる回答行のスコアを採用します。
- ▼First row scored (最初の行のみが採点されます。)
 - ⇒複数の行を回答していても、最初の行の回答のみを採点します。

水セキュリティ質問書

- ▼Points will be awarded per completed cell in proportion to the number of rows disclosed. (回答した行の数に比例して、記入したセルごとにポイントが付与されます)
 - ⇒表全体で、回答したセルの数に応じてポイントが付与されるため、部分的にしか回答できなかった行があってもポイントに反映されます。

▼Points will be awarded per completed row in proportion to the number of rows disclosed (回答した行の数に比例して、記入した行ごとにポイントが付与されます)

⇒表全体で、回答が完全に記入された行のみにポイントが付与されます。

情報開示レベル

認識レベル



CDPのスコアリング 注意点 (表形式の質問に対するスコアリング)



▼ Points will be awarded per completed cell in proportion to the number of rows disclosed. (回答した行の数に比例して、記入 したセルごとにポイントが付与されます)

⇒表全体で、回答したセルの数に応じてポイントが付与されるため、部分的にしか回答できなかった行があってもポイントに反映されます。

	列1	列2	列3	列4	列5
行1					
行2					
行3					

- ■は入力されたセル、■は無回答のセルを示しています。
- 入力が求められる欄:15
- 実際に入力されている欄:10
- こちらの質問の配点が6点である場合、10/15 * 6 = 4点が得点となる
- ▼ Points will be awarded per completed row in proportion to the number of rows disclosed(回答した行の数に比例して、記入した行ごとにポイントが付与されます)
 - ⇒表全体で、回答が完全に記入された行のみにポイントが付与されます。

	列1	列2	列3	列4	列5
行1					
行2					
行3					

- ■は入力されたセル、■は無回答のセルを示しています。
- 表示されている行の数:3
- 完答されている行の数:1
- こちらの質問の配点が6点である場合、1/3 * 6 = 2点が得点となる
- 行を追加するほどに点数が上がるということではございませんのでご注意ください

CDPのスコアリング 注意点 (自由記述欄:自社固有/事例/ケーススタディ)



▼自社固有の(Company-specific)回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的な影響、自社の具体的な活動、固有の製品/サービス、について記載してください。

不十分な回答例へ

0点

平均的な回答例

0点

良い回答例

得点

日本には、地震や台風、大 雨などの自然災害によるな 害リスクにさらされている 地域があります。これらの リスクは、バリューチ経 で取り組むべきいま す。

特に日本国内の拠点では、地震や台風、 豪雨などの自然災害による水害のリス クにさらされています。これらのリス クは、バリューチェーン全体での取り 組みが必要な経営課題であると認識し ています。洪水は、従業員や施設、在 庫に被害を与え、物流(原材料の供給 や完成品の出荷)が機能しなくなる可 能性があります。

特に、全生産量の3割を占める日本国内の拠点は、地震や台風、大雨などの自然災害による浸水リスクにさらされています。これらのリスクは、バリューチェーン全体で取り組むべき経営課題であると認識しています。例えば、大雨による洪水で最大4週間生産が停止するなど、日本での事業の60%が中断するリスクにさらされています。

CDPのスコアリング 注意点 (自由記述欄:自社固有/事例/ケーススタディ)



▼ケーススタディ(Case study)の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。 ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「Situation-Task-Action-Result (STAR)」アプローチに沿っ た記載を含めていただくことを推奨しています。

1) 状況(Situation): 現状や背景はどのようなものか

2) 課題(Task): 何をしなければならないのか/解決すべき課題は何か

3) 行動(Action): 実施した一連の行動はどのようなものか

4) 結果 (Result): 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

これらについて、<mark>自社に固有の(Company-specific)情報</mark>、<mark>具体的な時間と場所の情報</mark>などを含めて記述いただくことが望ましいと言えます。



CDPのスコアリング FAQ



▼回答言語(日本語/英語)でスコアに差がありますか? ⇒スコアに差はありませんが、<u>海外の顧客企業から回答依頼を受けている場合は</u> 英語で回答してください。

<u>日英併記の回答の場合、スコアリングは出来かねますのでご注意ください。</u> (日本語または英語のどちらかに統一してください)

Submit your response

- Before you submit, please check the pre-submission checklist in Using CDP's Disclosure Platform Companies guide.
- Your choice of public or non-public submission impacts how CDP can handle your response and where it will be shared. Please r
 publication of scores.

* In which language are you submitting your response?

回答言語を正しく選択してください。



CDPのスコアリング FAQ



- ▼全ての質問に答えなければなりませんか?
 - ⇒可能な質問のみ回答頂ければ結構です。 (ただし、無回答部分が少ない方が高評価になります。)
- ▼回答して低いスコアがつくよりは、無回答のままの方がよい? ⇒たとえスコアが低くても、回答企業は無回答企業より高評価になります。
- ▼セクター別の質問が自社の事業に該当していないように思われる ⇒どのセクター別質問の対象になるかは、企業のセクター分類によって決まります。より適切なセクター分類に変更をご希望の場合は事務局までご相談ください。



CDPのスコアリングを理解するために



スコアリングの透明性を高めるため、すべてのスコアリングに関連する情報はウェブサイト上に掲載しており、日本語訳も作成しています。回答の際にご参照ください。 また各プログラムのウェビナーでもスコアリングに関連した情報をご案内しています。

CDP scoring methodologies



Climate change

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 climate change request (updated April 1, 2020)



Forests

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 forests request (updated April 15, 2020)



Water security

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 water security request (updated April 17, 2020)



Scoring Introduction

An introduction to how scoring is applied to all of CDP questionnaires. (updated April 27, 2020)

- CDPスコアリング基準 (気候変動、水セキュリティ、フォレスト、SER)
- スコアリングイントロダクション
- SERイントロダクション
- スコアリングカテゴリ―とウェイト
- 2021年からの変更点

※日本語版は日本企業のみなさまの理解を促進するために作成しておりますが、最新の状況を 反映しきれていない可能性もあります。最新の 情報については英語版をご確認ください。



CDPのスコアリングを理解するために(日本語資料)





CDPジャパン ホーム

プログラム イベント 情報開示 開示サポート パートナー





※日本語版は日本企業のみなさまの理解を促進す るために作成しておりますが、最新の状況を反映 しきれていない可能性もあります。最新の情報に ついては英語版をご確認ください。

企業情報開示

CDPキャピタルマーケッツ、CDPサプライチェーンの質問書な らびにガイダンスを公開しています。ご活用ください。

企業の方はこちら

自治体情報開示

CDPシティの質問書ならびにガ 活用ください。

自治体の方はこちら

CDPは、気候変動、フォレスト、水セキュリティ質問書の回答企業に環境影響の計測・管理を促すようにスコアリング基準 を定めています。各CDP質問書(気候変動、フォレスト、水セキュリティ)は、個別のスコアリング基準を持ちます。

CDP質問書のスコアリングは、CDPによってトレーニングを受け、認定されたスコアリングパートナーによって実施されま す。CDP内部のスコアリングチームは、すべてのスコアとデータの質のチェックを行い、各スコアリングパートナーと各サ ンプルの間でスコアリング基準が守られているか等の品質管理を行っています。

質の高い情報の公平な提供者としてのCDPの評価を維持することは大変重要であると考えています。 詳細は、利益相反ポリ シーをご確認ください。

CDPスコアリング基準の日本語版は言語を日本語へ切り替えることでご覧いただけますが、正式なCDPスコアリング基準は 英語版となりますので、更新などの情報含め必ず英語版もご確認ください。

https://japan.cdp.net/disclosure



気候変動スコアリング基準 2022

気候変動

フォレスト

フォレストスコアリング基準 2022



水セキュリティ

水セキュリティスコアリング基準 2022



CDPが提供している主な資料(リンク集)



- **▼** <u>よくあるご質問(FAQ)</u>
- ▼回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- <u>▼ スコアリングイントロダクション</u>
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)



CDPニュースレターのご案内

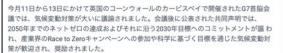


CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

過去のニュースレターはこちらからご覧いただけます。







また、それに先立って開催されたG7財務大臣会議では、TCFDの枠組みに基づく開示の義務化に向けて支持が表明され、インパクト報告の重要性への認識も示されました。



金融を介した脱炭素化の取り組みが勢いを増しています。今月上旬にイタリアのベニスで開催されたG20財務大臣・中央銀行総裁会議では、気候変動が金融安定にもたらすリスクがあらためて認識され、気候関連財務リスクに対処し、サステナブル・ファイナンスを動員するための環境整備の必要性が確認されました。これを受けて、翌週の日本銀行政策決定会合では、金融関に気候変動対応の投融資を促す新制度の骨子が示されました。また、民間サイドでも、今月、新たに41の資産運用会社が脱炭素化を支援する国際金融イニシアティブに加わるなどの動きを見せています。







CDP Worldwide-Japan

Address:東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



www.cdp.net/ja/japan(日本語サイト)



お問い合わせ: japan@cdp.net

